

第9回アジア原子力協力フォーラム(FNCA) 大臣級会合の開催について

平成20年11月25日
原子力政策担当室

FNCAは、我が国と地理的・経済的に密接な関係のある近隣アジア各国との間での原子力技術の平和利用に関する地域協力である。毎年1回開催する大臣級会合では、FNCAの成果と計画を審議し、さらに協力推進のための政策対話を行う。

今年度の第9回会合はフィリピンと日本の共催で開催する。今次会合の政策対話としては、原子力発電の基盤整備及び放射線利用分野での研究開発に関する協力のさらなる促進のための方策等についての円卓討議を行う予定。

1. 主催

内閣府、原子力委員会、フィリピン科学技術省

2. 開催時期

平成20年11月28日(金)※

※27日(木): 上級行政官会合を開催(プレスオープンなし)

3. 開催場所

フィリピン、マニラ市、ソフィテル・フィリピン・プラザホテル

4. 参加国

日本、オーストラリア、バングラディッシュ、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムのFNCA 加盟10カ国

■プログラム(案)

平成20年11月27日(木):上級行政官会合

平成20年11月28日(金):大臣級会合

【午前セッション】

●プレスオープン

9:00-9:45 セッション1:開会(開会挨拶等) ●開会挨拶、各国紹介のみ

9:45-10:45 セッション2:カントリーレポート

11:15-12:15 セッション3:FNCA活動報告

【午後セッション】

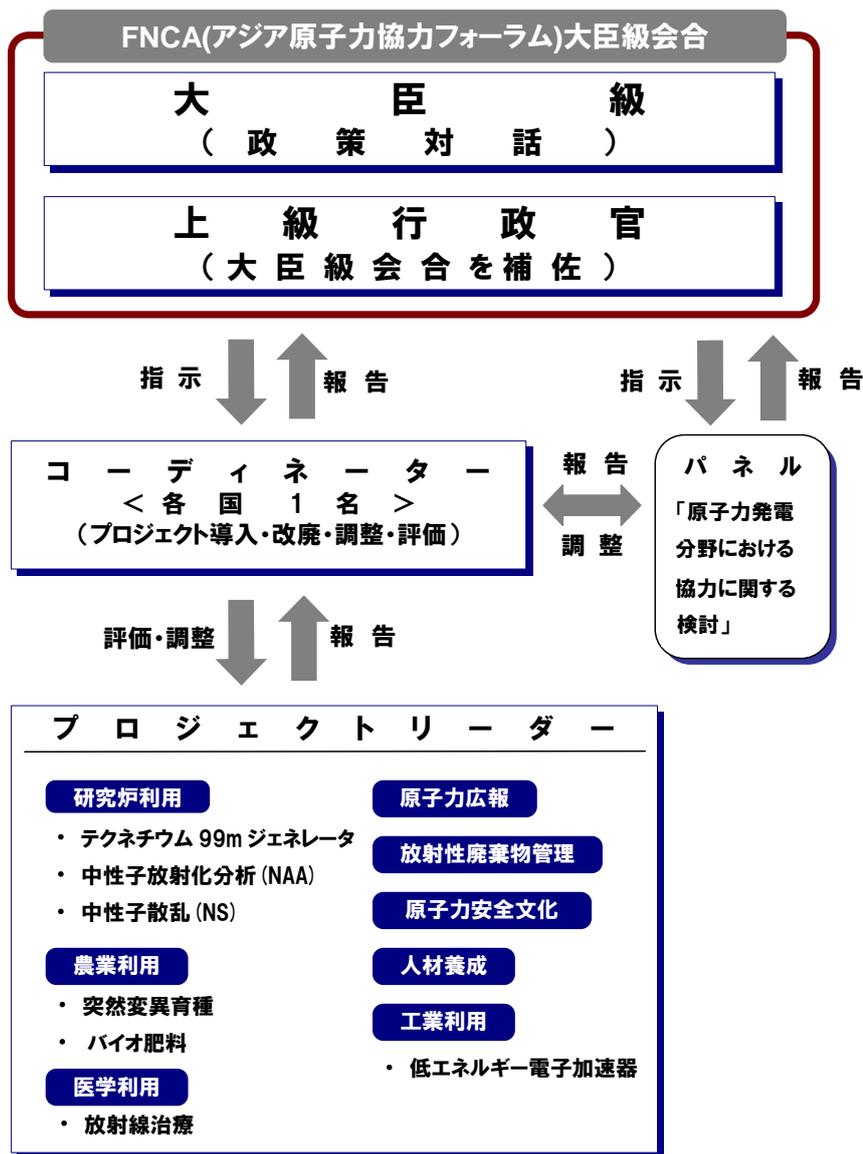
14:00-14:45 セッション4:円卓討議:原子力発電の基盤整備のための協力

14:45-15:30 セッション5:円卓討議:放射線利用のさらなる促進のための協力

16:00-16:30 セッション6:決議(レゾリューション)他に関する討議、採択

16:30-17:00 セッション7:閉会セッション(プレスオープン) ●

・決議確認、次回開催国挨拶、閉会挨拶、共同記者会見



■大臣級会合

原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

■コーディネーター会合

FNCAプロジェクトの実施責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う各国FNCAコーディネーターによる会合。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議する。年1回日本で開催。

■パネル会合

原子力発電の役割、原子力発電の導入に伴う課題等について専門家及び行政官が検討、討議する場として2004年に設置。毎年1回日本で開催。

■個別プロジェクト

非発電8分野11プロジェクトについて、ワークショップ開催等の協力を実施。

<参考>

- 第1回大臣級会合：平成12年(タイ) 大島科学技術庁長官出席
テーマ：「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」

- 第2回大臣級会合：平成13年(東京) 尾身科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」

- 第3回大臣級会合：平成14年(韓国) 細田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」

- 第4回大臣級会合：平成15年(沖縄) 茂木科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」、
「持続可能な発展と原子力エネルギー」

- 第5回大臣級会合：平成16年(ベトナム) 棚橋科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「FNCAの今後のあり方」

- 第6回大臣級会合：平成17年(東京) 松田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「科学技術と原子力」

- 第7回大臣級会合：平成18年(マレーシア) 平沢内閣府副大臣出席
テーマ：「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」
「原子力エネルギーの広報」

- 第8回大臣級会合：平成19年(東京) 岸田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA 活動」
「放射線利用を中心とした FNCA 活動」

- 第9回大臣級会合：平成20年(フィリピンで開催予定)
テーマ：「原子力発電の基盤整備のための協力」
「放射線利用の更なる促進のための協力」